

- 群馬県の卸売業は家庭用電気機械器具の  
年間商品販売額が圧倒的に多い -

群馬県の事業所数をみると卸売事業所数の24.6%、小売商店の17.6%を高崎市が占め、次いで、前橋市、太田市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業は前橋市の割合が42.8%と最も高く、小売業では高崎市の割合が20.1%と最も高くなっています。

小売商店の立地をみると、商業集積地区とその他地区の割合がほぼ同じで30%を超えています。商業集積地区の内訳では、市街地型のほか、ロードサイド型の割合が高くなっています。

卸売販売品目をみると、「家庭用電気機械器具」の販売額が他の品目に比べて圧倒的に多くなっています。

1. 事業所(小売は商店)数、就業者数、年間商品販売額 (平成19年)

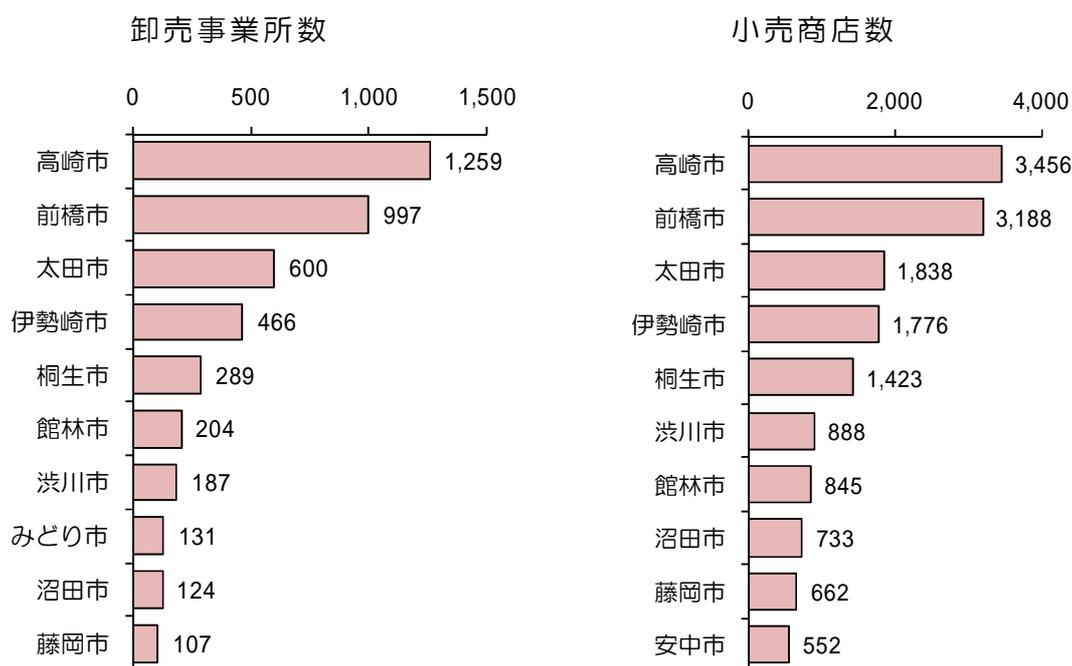
	事業所数		就業者数		年間商品販売額		
		全国順位	(人)	全国順位	(百万円)	全国順位	
全国	1,472,658	-	11,685,048	-	548,237,119	-	
群馬県計	24,771	19	175,581	18	6,830,048	16	
業 種 別	卸売業計	5,118	18	47,539	18	4,704,270	13
	各種商品卸売業	20	18	136	30	5,267	31
	繊維品卸売業(衣服、身の回り品を除く)	85	12	447	12	13,736	15
	衣服・身の回り品卸売業	185	18	1,209	18	32,041	21
	農畜産物・水産物卸売業	580	24	6,281	23	470,721	19
	食料・飲料卸売業	588	24	5,922	19	570,233	15
	建築材料卸売業	722	17	4,683	20	282,245	18
	化学製品卸売業	206	16	1,721	17	118,209	19
	鉱物・金属材料卸売業	243	16	2,846	16	320,077	20
	再生資源卸売業	196	14	1,240	15	56,301	16
	一般機械器具卸売業	549	15	4,434	15	333,784	14
	自動車卸売業	373	15	4,290	13	272,013	14
	電気機械器具卸売業	224	23	2,906	18	1,345,919	6
	その他の機械器具卸売業	134	23	1,495	18	100,197	17
	家具・建具・じゅう器等卸売業	174	27	1,403	20	71,087	16
	医薬品・化粧品等卸売業	224	22	3,072	15	231,274	17
	他に分類されない卸売業	615	19	5,454	16	481,167	15
	小売業計	19,653	20	128,042	19	2,125,778	18
	各種商品小売業	74	27	7,592	26	140,656	28
	織物・衣服・身の回り品小売業	2,416	20	10,316	18	148,654	19
	飲食料品小売業	7,124	18	53,327	17	666,751	18
	自動車・自転車小売業	1,730	17	10,266	19	305,035	18
	家具・じゅう器・機械器具小売業	1,625	23	7,065	22	157,505	20
	その他の小売業	6,684	19	39,476	19	707,176	19
	医薬品・化粧品小売業	1,242	24	6,158	23	106,141	21
	農耕用品小売業	322	21	1,430	22	34,979	20
	燃料小売業	1,284	20	7,534	19	272,570	19
	書籍・文房具小売業	540	30	8,357	23	60,592	20
	スポーツ用品・がん具・娯楽用品・楽器小売業	546	15	3,195	14	51,459	14
	写真機・写真材料小売業	57	21	207	19	2,533	17
時計・眼鏡・光学機械小売業	347	18	1,261	17	16,104	15	
他に分類されない小売業	2,346	19	11,334	20	162,798	16	

## 2. 市町村別の状況

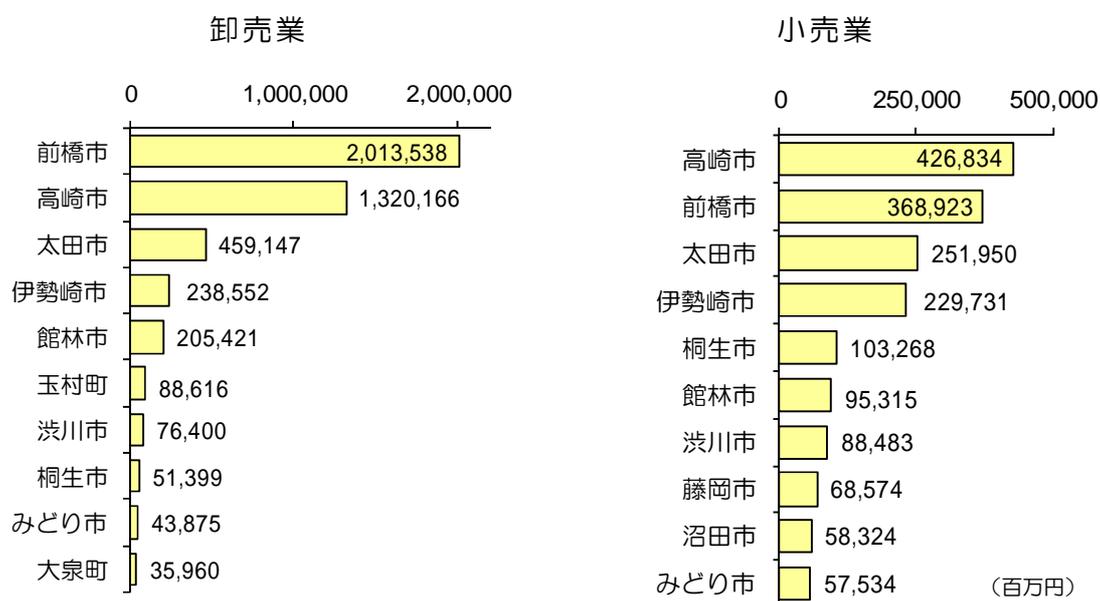
群馬県の事業所数をみると、卸売事業所の24.6%、小売商店の17.6%を高崎市が占め、次いで、前橋市、太田市の順となっています。

年間商品販売額をみると、卸売業は1位が前橋市で42.8%を占め、次いで、高崎市、太田市の順となっています。小売業では1位が高崎市で20.1%を占め、次いで、前橋市、太田市の順となっています。

【事業所(商店)数の上位10市町村】(平成19年)

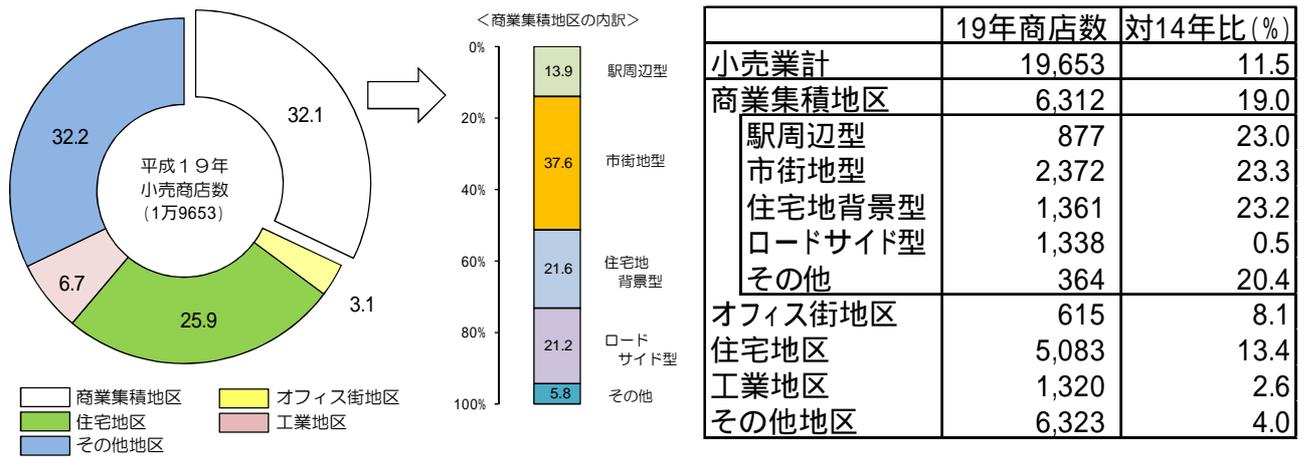


【年間商品販売額の上位10市町村】(平成19年)



### 3. 立地別にみる商店(小売業)

小売商店の立地をみると、その他地区と商業集積地区が30%を超えています。商業集積地区の内訳では市街地型の割合が37.6%と最も高くなっていますが、ロードサイド型の割合も21.2%と高い割合となっています。



### 4. 品目別年間商品販売額

品目別に年間商品販売額をみると、卸売品目では「家庭用電気機械器具」が1兆円を超えて圧倒的に多くなっています。

【販売上位10品目】(平成19年)

